

神戸空港について

問 これまでも本市は神戸空港の規制緩和、特に運用時間の延長及び発着枠の拡大に向け国への要望を続けているが、関西空港・伊丹空港の経営統合の動きの中で、関西3空港一体運用といった言葉だけが先行し、規制緩和が遠のいていくのではと危惧する。規制緩和と実現のためには利用実績を上げることも必要で、今一度原点に戻り、都市部に近接する利便性の高さやLCCに対抗する航空会社の努力など神戸空港独自の魅力を発信し、また空港の魅力によって医療産業のクラスター形成が成された実績をアピールして、規制緩和と実現への推進力とすべきではないか。

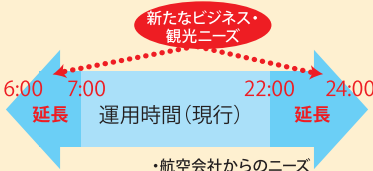
答 (矢田市長) 神戸空港の機能充実・規制緩和、特に運用時間の延長と発着枠は喫緊の課題である。規制緩和を求める利用者の方々特に医療産業で進出されている企業・スパコン関係の研究者の皆さんこれらの方の声を高めていくため経済界とも話をしている。

利用促進に向けては就航都市での各種PR、市内外でのキャンペーンの展開、また企業や経済団

体へ個別訪問を行い、アクセス時間や各種料金の優位性を案内し、利用促進を図る。また各航空会社に増便や新規路線の就航、機材の大型化、利用しやすい運賃設定をお願いしている。各社もLCCへの対抗手段として格安運賃の設定などに取り組んでいる。航空会社からも延長された時間帯の具体的な活用計画を国に要望してもらい、今後も強い要望を続けていく。

要望 規制緩和に向け、市民が一丸となり「利用価値が高く需要のある神戸空港が恣意的に機能を制限されているのはおかしい」と声を上げる状況が理想である。料金面で優位性があり、周辺にも賑わいができていく。実績面でも地方空港の中で旅客数が多い。マイナスのことばかりが報道されがちだが今一度開港時の気持ちに帰ってアピールし、それに市民に共感を拡げることが大切だ。

※1.運用時間の延長



※2.発着枠の拡大

航空会社からのニーズ
新幹線との競争力アップ
現行は1日30便が上限。
拡大すれば航空会社による増便が可能に。

次回定例会市会は2月25日より3月28日まで開会される予定です。

詳しくは→ <http://www.city.kobe.lg.jp/sikai/> で市会情報、議事録、録画映像を配信しています。



平井まち子 神戸市会議員 自民党

□1976年神戸市長田区生まれ(36歳)
□池田小、西代中、長田高校、神戸大学(文学部史学科)卒業 □神戸電子専門学校を修了、市内の広告代理店に勤務、タウン誌の制作などに携る。 □2005年10月の神戸市会補欠選挙にて10,436票をいただき初当選。 □2007年市会議員選挙で5,413票をいただくも10票差で惜しくも次点。□2011年市会議員選挙で5,525票をいただき再選。

役職

- 自民党神戸市会議員団 政調会長
- 都市防災委員会 委員
- 大都市行財政に関する特別委員会 副委員長

地域活動

- 長田神社氏子会参与 ●神戸金型工業会相談役
- 長田館商組合顧問 ●池田自治会顧問
- 兵庫県盲導犬協会顧問
- 神戸あじさいライオンズクラブ会員 など

ご相談・お問い合わせ先

■自由民主党神戸市会議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 市役所1号館28階
電話 078-322-5846 Fax.078-322-6164

■長田区支部 平井まち子事務所

〒653-0843 神戸市長田区御屋敷通6-1-11
電話&Fax. 078-643-0647
(月～金 9時～17時)
eメール machiko.h@earth.ocn.ne.jp

携帯でご覧になる方は
こちらから!



平井まち子 検索

<http://www.55machiko.jp>

神戸市総合コールセンター

年中無休受付中 (8:00~21:00)

☎078-333-3330

神戸市の総合的な窓口です。ぜひご利用下さい。